

○議長（吉田敏郎）

引き続き、一般質問を行います。

８番、山本研一議員、どうぞ。

○８番（山本研一）

皆さん、こんにちは。８番議員、山本研一です。

今日は、通告に基づき、本町における重要課題とその対応状況という質問をいたします。

神奈川県は、県西地域全体で人口減少が進んでいる中、本町は人口の増加傾向が続く、今年３月からは開成駅に急行がとまり、新庁舎建設も計画どおり順調に進んでいます。近隣自治体から見れば、元気の良い勢いのある町と思われているのではないのでしょうか。しかし、この状況を維持し、さらに発展させるためには、第五次開成町総合計画に掲げた諸施策や、町長が選挙公約に挙げた町民との約束を確実に実行していく必要があると考えております。第五次開成町総合計画に掲げた諸施策は、本町の将来を見据えた重要な内容であり、また、町長が先の選挙で掲げた公約も町民にとって大変魅力あるものと言えます。

しかし、これらを具体的に進めていくに当たっては、さまざまな課題も山積していると考えられます。そこで、本町における最も重要な課題は何と考え、その対応の状況と、それに準ずる課題にはどのようなものがあるのか、町の考えを伺います。

以上、壇上からの質問にさせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、山本議員の御質問にお答えをいたします。

去る６月の定例会議におきまして、私の３期目の町政運営における所信を表明する機会をいただきました。その中で、３期目においては、田舎モダンな町を目指して着実な進歩を図るとして、「子どもが元気なまちづくり」、「暮らしやすくきれいな町づくり」、「皆がいきいきと健康な町づくり」とする「元気・きれい・健康」の三つの視点による施策を申しあげました。

また、交流人口を増やし農業が活性化する地域を目指す北部地域、文化・コミュニティの拠点と暮らしやすい地域を目指す中部地域、及び県西地域の副次拠点として魅力ある地域を目指す南部地域の三つの地域ごとの施策に加えて、広域連携の強化によって地域活性化と行政サービスの充実を目指すことを申しあげさせていただきました。議員御指摘のように、これらの施策を進めていく際にはさまざまな課題があると考えられますが、一つ一つ着実に前進させていく所存であります。

さて、これらの数ある施策の中でも、議員の御質問にある最も重要な課題としては、さらなる町全体の着実な進歩を図る上で、駅前通り線周辺地区土地地区画整理事業が、期間的にも財政的にも庁舎建設後の一大重点事業と考えております。駅前通り線周辺地区土地地区画整理事業は、南部地区の定住促進に大きな影響があるとともに、駅前通

り線を含めた開成駅周辺地区は、駅前の近隣商業地域として町の顔となる重要な地区であります。

また、第五次開成町総合計画においては、開成駅は地域の拠点駅にふさわしい駅周辺の良好な市街地整備を進める地区として位置づけております。開成駅については、周辺の土地区画整理事業による基盤整備により駅利用者数は年々増加しており、急行停車以降、一層増加していると感じております。開成駅が交通結節拠点として重要性が高まる中、さらに駅へのアクセス性の向上を図る必要があり、駅前通り線の早期全線整備が望まれております。町では、開成駅につながる駅前通り線の整備により、みなみ地区等との道路ネットワークの機能を強化し、その周辺の面的整備により商業系土地利用が促進され、周辺企業や居住者の利便性が向上するとともに、開成駅の広域的な拠点機能が一層高まり、職・住が一体となった魅力ある地域づくりを進めることで町全体の活性化を図っていきます。

開成駅周辺を中心とした都市計画の取り組みについては、昭和54年に62.4ヘクタールの区域が開成駅周辺地区土地区画整理事業として都市計画決定がされております。都市計画決定後、昭和57年から平成8年にかけて、地権者の合意が得られた開成駅を中心とした26.4ヘクタールについて、町の施行により土地区画整理事業として整備を実施いたしました。このほか、地権者の合意が得られた区域について、順次、土地区画整理事業を実施しており、現在、32.9ヘクタールが整備済みとなっております。

今回の駅前通り線周辺地区土地区画整理事業は、未実施区域の一部であります。本地区の整備手法としては、市街化区域内で既に都市化が進んでいることから、土地区画整理事業後の地区内の土地の価値総額が事業前の土地の価値総額より減少する減価補償地区と想定しており、事業認可後に地区内の一部の土地を買収し公共施設用地に充当する必要があるため町施行となります。

事業の実施に向けては、平成26年度から各種調査を実施するとともに、これまでに7回の地権者への説明会を開催し、地元の合意形成に努めております。平成30年度からは、地権者の意向を踏まえた事業計画を立案するため、地権者の皆様へ個別訪問を実施し、将来的な土地利用の意向や個別の御意見等をお聞きしているところであります。この個別訪問による地権者の皆様の土地利用の意向を受けて課題等を確認していますが、できるだけ地権者の方の意向を踏まえた事業計画となるように検討を進めております。

土地区画整理事業も含めた土地に関する事業は、何よりも地権者の御協力が必要不可欠であります。今後も、十分に丁寧な説明に努めるとともに、引き続き個別訪問を実施し、しっかりと地元との合意形成を図りながら事業計画の立案を進めていきます。当面の目標としては、令和2年度末の土地区画整理事業の認可であります。まずは事業認可に向けて、戸別訪問で把握した課題に対応した事業計画（案）を取りまとめるよう、神奈川県や警察など関係機関との協議もあわせて進めているところであり、事業認可後には計画的かつ着実に推進をしていきます。

また、本事業に準ずる課題ということでは、本地区と周辺地域との関連性や駅前の土地という潜在的な特性を生かすことであり、ポイントが二つあると考えております。一つ目は、みなみ地区との道路ネットワークの形成を町全体の活性化につなげること、二つ目は、本地区の駅前通り線に沿って指定している用途地域、近隣商業地域のメリットを最大限引き出すよう土地利用を誘導することです。ハード事業の推進は最重要ではありますが、その期待する効果が発揮されるようにソフト事業が充実することも重要であるということは当然であると考えております。

駅前通り線周辺地区土地区画整理事業の推進は、とても大変なことであると認識しております。よって、庁内体制の見直しも含めて事業の推進力を高めていきます。もちろん、私も先頭に立って、この事業の推進に尽力していきたいと考えております。

以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

ただいまの答弁に対して、再質問をさせていただきます。

本町での最も重要な課題は、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業との答弁がありました。開成町の将来を展望したとき、急行がとまり多くの乗降客でにぎわう駅周辺は、いわば駅の顔。したがって、駅前通り線とその周辺整備は、まちづくりにおいて大変重要な課題であるということは私も認識しております。

ただ、第五次総合計画に掲げた諸施策や町長選挙公約などに挙げられたさまざまな課題、高齢者福祉、子育て支援、防災、駅前通り線以外の道路整備などをはじめとした多くの取り組み課題がある中で、今の答弁で駅前通り線の重要性はよく分かりましたが、ほかの重要課題と比較して、町長は、なぜ駅前通り線周辺地区土地区画整理事業を最重点課題に挙げたのか、その理由を聞かせていただきたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

今、山本議員が言われたように、さまざまな施策を選挙公約、また、第五次総合計画の後期基本計画の中に盛り込んでおります。今、開成町が元気と言われているのは人口が増えているということを考えると、これからも、ある程度、何年先には頭打ちになる、予測はもちろん出ておりますけれども、私が町長になって急行がとまって、これは私がとめたわけではなくて、もう、ずっと前から駅を誘致して、そういう中でさまざまな駅周辺の区画整理を土地の利用者の合意を得ながら進めてきて、結果として、今、急行がとまっているわけです。

これから先の開成町の将来を考えたときに、さまざまな課題がもちろんあります。子育て、教育、防災、もちろんそうなのですが、特に、これから大事になってくるのは、この駅前通り線が大変な難事業であるということの認識を私が持っているからです。やはり、それは、他人様の大事な土地でありますので、土地に絡む事業と

いうのは大変、長期間かかりますし、説明、説得力を持って頭を下げながら土地を譲ってもらって事業を進めなくてはならないということで、事業期間的にも相当な年数がかかるであろうし、事業費としても相当のそれなりの事業費がかかるということを考えたときに、これが一番、開成町の将来にとって、今、やらなくてはいけない。大変な難事業であっても手をつけていくと、進めていくというつもりで、今回、山本議員の御質問に対しては、最重要課題として駅前通り線を掲げさせていただきました。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

それでは、町長が最も重要な課題として挙げられた駅前通り線周辺地区土地地区画整理事業について伺います。

この事業は、新庁舎建設とは違い、お金をかければできるというものではなく、今、お話がありましたように、地権者の皆さんとの関係をはじめ、さまざまな問題を克服していかなければならないのが現実だと思います。そのためには、町長のしっかりした考えと率先垂範の行動、強いリーダーシップが大変重要だと考えます。

以前の話で恐縮ですが、私がサラリーマンのとき、関東のある県の町長から社長に会いたいという連絡がありました。町長がお見えになるということで社長が会う段取りをしていましたが、あいにく急用があり、私がお相手をするようになりました。話の内容は、工場誘致の件で進出してもらえないかという内容でした。当社には新たな工場の建設予定はないことを丁重にお話しし、御理解をいただきました。そのとき、私は、なぜ、町長さんが自らお見えになったのか聞いたところ、管理職が行けば管理職の方にしか会えず、会社の状況を把握している上層部の方に会っていただけない、したがって、はっきりした回答が得られないとおっしゃっていました。まさに、当社の対応もそのとおりでした。

その町長は、工業団地を整備する際に、中には反対する地主の方もおられて、反対されている方のところには何度も自ら足を運んで、税收の確保や町民の働く場を広げたい、そういう町の考えを一生懸命、話をして納得してもらった経緯があり、完成した工業団地には思い入れも強く、何とか優良企業に来てもらいたいという思いで足を運んでお願いに上がっている、月の半分は表に出かけて、こういうお願いをしているというお話を伺いました。

今や外交はトップの仕事というのは、民間企業だけではないと考えます。町長が自ら足を運んで交渉など渉外活動をするのが当たり前の時代だと思います。今の答弁で私も先頭に立って事業の推進に尽力するとの発言がありましたが、府川町長は自ら駅前通り線周辺地区土地地区画整理事業に対する課題解決のために先頭に立って何をされるつもりなのか、具体的に聞かせてください。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

まず、駅前通り線を成功させるには、それなりに庁内の体制をきちんと整えなければいけない。来年の５月には新しい新庁舎ができます。また、機構・組織の改革も、それをあわせて今、考えておりますので、そこにあわせて、きちんと駅前通り線を担当する部署を設置すると。そこが、まず、第一弾、一番重要なことなのかなと。

今、地権者説明会、先日も職員が説明をさせていただきましたけれども、多くの地域の皆さんや議員の皆さんも来ていただいたようですけれども、何回も何回も地権者の皆さんに接して御理解をいただくと、また、土地区画整理事業のあり方、説明、進め方がなかなか今までの区画整理とは違うやり方でありますので、そこを理解してもらうというのが大変重要なことであります。

もちろん、町の方向性として、開成駅周辺地区の開発は将来にとって大変重要な事業であるということの説明だけでは、私は地権者の納得はやはり得られないと。地権者にとって、どれだけ優位性があるかも含めて、地権者の意向をできるだけ尊重するということが大変重要になってきますので、職員が今、各地区、個別に地権者と意向調査で回っておりますけれども、そういう情報をきちんと収集しながら、町長としてきちんと指示をしていく方向で、これから進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

どうも、かみ合わない感じがしたのですが、私は、町長が自ら何をするのだという思いで質問させていただいたのですが、

先日、今、お話がありましたように、２５日と２６日に駅前通り線周辺整備事業の第７回説明会が開催されました。議員になってはじめての説明会でしたので、２６日の夜、説明会に参加をいたしました。開催通知には、「昨年度から実施しております個別訪問において、皆様からお伺いした土地利用等の御意向で課題を確認したため、対応を慎重に検討した結果、施工区域の修正を行うことといたしました」と記載されており、施工区域の修正に伴う関係者の方には大変重要な説明会だと思いますが、先頭に立って推進に尽力するという町長が、なぜ、出席をして自ら説明し、皆さん生の声を聞かなかったのでしょうか。

参加された方の中には、なぜ、町長が来ないのか、新庁舎建設のときには町長が来たのに、この事業は重要ではないと考えているのかという声もありました。また、地権者の方の中には、賛成できないと、はっきり意思表示されておられる方もいました。さらに、最終的には強制執行かという話もあり、職員の方は、そうならないように十分努力を重ねるという話もされていましたが、強制執行など、まさに町長マターだと思います。それこそ、説明会に町長自らが出席し、先頭に立って町の意向をきちんとお話しして理解を得る場ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

確かに、私は、その説明会に行きませんでしたけれども、事前に全ての地権者が今どういう状況であるかというのは、職員から個別にそれぞれの意向、今、言われた反対しているという話の誰かも、もちろん知っておりますし、どういう状況でそういう反対であるということの中身も全部把握をしております。そういう人たちのさまざまな御意見はきちんと役場庁舎内で情報を共有しながら、では、町の方向性として、どういう方向で行くのだということは、別に部下に任せているだけではなくて、副町長ほか幹部の中で、情報を共有しながら意思決定をして、方向性を決めて、このような方向で進むということの指示をしていると認識をしております。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

私が申しあげているのは、そんなの当たり前の話ではないかと思います。町長が自ら、何で出て行って地権者の方に話をしたり話を聞いたりしないのかと聞いているのですけれども、その点について答弁をお願いします。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

今、私が出ていく出番ではないと、私は今、認識をしております。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

では、どういう場で出ていかれるのですか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

事業主管課ということで、私のほうで説明をさせていただきたいと思います。

土地区画整理事業ということでは、重要なポイントというのが幾つかございます。その一つが事業認可というところでございます。こちらについては、今現在、令和２年度末ということで県の認可を目指して取り組んでいるところでございます。

事業計画というところでは、重要なポイントが幾つかございます。資金計画であったり、あとは工事期間であったり土地利用計画、今、まさに土地利用計画という事前の皆さんの御意向を反映した、含めた、御意向を踏まえた計画をつくるという段階でございまして、事前の調整のところかなと思っています。今後、事業計画という、それぞれの、資金計画とか、そういったもろもろの大事なところを含めた中で取りまとめるという作業を進めておりますので、これがまとまった段階におきましては、やはり町長自ら御説明いただくなり、そういったところをきちんと訴えていただくという

ことは考えてございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

傍聴者の方に申しあげます。傍聴者の方、申しわけありません、私語は慎んでいた
だきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

山本議員。

○８番（山本研一）

分かりました。今の担当課の答弁で、開成町のスタンスというのがこういうものだ
と。ただ、先ほど私が言った町長とは随分、町長のスタンスが違うなというのは、は
っきり、私、認識しましたので、今後の町長の動向はよく注視させていただきたいと
思います。

私にとって今回がはじめての参加で、これまでの経過は十分理解していませんが、
そのときのやりとりで移転の補償金についての話が出ていました。この事業は移転の
補償などでかなりの費用がかかると思いますが、駅前通り線周辺事業の今の試算では
どのぐらいの予算規模なのか、また、その出所はどのようになっているのか、教えて
いただきたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

駅前通り線周辺地区土地区画整理事業につきましては、平成２６年度の時、まち
づくり基本調査ということで、事業をどの範囲で、どの程度で進めるかという検討を
進めたところがございます。この調査におきまして、駅前通り線、都市計画道路の貫
通、そして、その隣辺部の土地利用を促していく、活性化していくという範囲の中で
考えた場合に、おおよそ想定事業費としては約４０億円ぐらいかかるのではないかと
いうところで概算を出しているところがございます。また、実際に詳しく調査を進め
ている中で、今、事業計画案をつくっているというところでは精査をしているという
ところがございます。

あと、もう一点、事業費に対しての財源という部分でございますけれども、都市計
画道路等、重要な道路が含まれておりますので、国庫補助金の対象事業でございます。
こちらについては、おおよそ４分の１程度が補助金の採択をされるのではないかと
いうことで考えております。ですので、それ以外のものについては、今現在、町の予算
の中で、今後、庁内調整等をした中での確保というのですか、事業費でのものにつ
いては検討していくという状況ではございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

そうすると、約３０億は町のお金を使うということですね。

それと、もう一つ。地権者の方は何名ぐらい、おられるのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

今、土地区画整理事業を予定している区域の中に土地を所有されている方の人数としましては、７６名というところで確認をさせていただきます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

分かりました。

私の今回の質問は、本町における最も重要な課題は何かということと、それに準ずる課題はどのようなものがあるのかという内容でした。実は、それに準ずる課題というのを別項目で②という形で取りあげようかなということも迷いました。なぜなら、全く別の課題が出てくることを、それに準ずる課題というのは全く別の課題が出てくることを期待していたのですけれども、別項目にしなかったという、こちらの質問の仕方にもよったのかと思いますが、本町における最も重要な課題とそれに準ずる重要課題については、今回の町長答弁、駅周辺とみなみ地区の整理事業が中心で、私が考える町民の皆様からいただいた期待する内容とはちょっと違う気がいたしました。

新庁舎建設の次に駅前通り線整備、これは、必要なこととはいえ、続けて、今、お話があったように、大きなお金のかかるハード事業となります。将来を見据えたまちづくりとして、必要性は十分理解できます。しかし、町民の皆さんはどのようなお考えがあるのか、町長も御存じだと思います。私は、この１年間、普段から、より多くの町民の皆さんとお話をする機会がありました。恐らく、それは町長も同じだと思います。町民の皆さんが考えている課題は、自分の日常生活に直結する内容が多く、また、自分の地域が中心であり、地域によって課題が異なっていました。当然のことだと思います。

具体的なことですが、南部の方々は駅前通りを中心とした駅周辺の開発、治安維持のための交番の誘致などもありました。一方、北部においては、農業の担い手、後継者がいないということで、今後の土地の利活用についてや高齢化が進む中での移動手段など、また、中部では、旧十文字橋からの、かつては町のメイン道路だったところ、先ほど同僚議員の質問の中でシンボルロードという話もありましたが、この再開発など、地域によってそれぞれ身近な課題を聞きました。

その中で、全町共通した町民の皆さんが望む課題としては、町民サービスの充実、向上がありました。ソフト面です。現在、開成町は、足柄上郡はもちろん、県下の町の中でも一番と言って良い立派な新庁舎を建設しています。また、３月からは駅に急行がとまり、人口の増加傾向はとどまるところがありません。直近では、１万８千人

になろうかという勢いです。

しかし、町民サービスの内容はどうか。高齢者、障害者福祉、子育て支援、さまざまな補助金や、先ほど同僚議員からのお話もありましたが、さまざまな補助金や個人負担金、公共的な料金、公共施設の利用条件等々、これら全てが新庁舎と同じように足柄上郡のトップレベルになっているのでしょうか。町民が考える課題には、これらが足柄上郡で一番の庁舎にふさわしい、人口が伸び元気な町として、どこよりもレベルの高い町民サービスを受けられる町にしたいというのが多くの住民の皆さんが考えている課題です。

しかし、一方で、新庁舎建設で大きなお金を使い、多額の借金をし、さらに駅前通り線事業でも多額の、今、30億というお話がありましたけれども、多額のお金が必要になる。お金がないから町民サービスの充実、向上はできないのではないかと、あるいは緊縮財政で今よりもサービスが低下したり個人負担が増えるようなことにはならないか、こういった生活に密着した課題を挙げています。何回も言うようですが、町の将来を考えたとき、駅前通り線や周辺の整備はハード面で大変重要なまちづくりの課題であります。しかし、町民の満足度を向上させるためのソフト面で、町民の懐に優しい町民サービスの充実、向上も大変重要な課題だと私は考えております。

町長も答弁の冒頭で、着実な進歩、子どもが元気、暮らしやすい、みんなが生き生きといった地域活性化と行政サービスの充実を目指すと述べられています。このように、まちづくりの重要な課題として駅前通り線周辺地区土地区画整理事業という将来のまちづくりを展望したハードの課題と、行政サービスの充実、向上という町民の生活に密着したソフト面の課題をバランス良く進めていくというのが、町長の大変重要な役目だと思います。ハード面の推進は重要だが、その期待する効果が発揮されるようソフト事業が充実することも重要であることは当然という答弁がありましたが、府川町長は、立派な新庁舎同様、人口が伸びる元気な町にふさわしい、どこよりもレベルの高い町民サービスを受けられる町にしたいという町民目線の課題について、どのようにお考えなのか伺いたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

確かに、山本議員が言われたように、町民の皆さんは、特に身近な道路、川、含めて、すごく、そういうところにも関心が高いということは私も認識しています。これまで町長になって、開成町、神奈川県で一番小さな面積の町ですけれども、50年前に歴代の首長さんがきちんと都市計画決定、開成町全部をして、北部地域の優良農地を守っていく、豊かな自然を残していく地域、既存の中部は公共施設がある優良な住宅を維持していく、南部の開成駅を誘致をして新しい町をつくっていくのだという、そういう土地利用をきちんと計画されました。

私が町長になっても、その重要性は認識して、きちんとバランス良くやってきたつもりです。北部においては、オリンピックを契機に南箱道路ができて、箱根のお客さ

んを獲得するチャンスが来たわけですので、瀬戸屋敷周辺整備を計画して、今年度、来年のひなまつりまでには駐車場が大きく拡大し、また、入り口にある、今、郷の市さんにやっていただいていた道具館を全部、新しくつくり直して、交流拠点として直売所、加工所、案内所、特に、加工所においては北部地域の農産物を、そこで6次産業化して、北部の農業の優良農地を守っていくの一つの一助として活性化対策ということで、今、瀬戸屋敷周辺整備をしています。

それにあわせて瀬戸酒造店という、これは民間の事業ですけれども、この間、東京まで行って、ちゃんと社長に会って出てきてもらうような、そういう交渉をした結果として、瀬戸酒造店が、もう1年たちましたけれども。たった1年の中で、フランスでのプラチナ賞というすばらしい賞をとるまでになった。それぞれ単独では、なかなか北部地域に箱根のお客さんを獲得するには難しい。両方が力を合わせて官民、そして、その間を結ぶ県道、見通しの悪い、ここも、今、拡幅で歩道もきちんと整備できるところまでめどが立っております。

中部は、新庁舎建設と。開成町の中心である、この地域においての中部地域の皆さんの特に結束点でありますので、町全体の、そこに力を入れていくと。

南部、これは南部だけの話ではなくて、開成駅、急行がとまった以上は、開成駅全体、町全体のこれからの発展のためには、確かに、事業費、相当な金額がかかります。これを何とかするのが町長の仕事です。地権者の、もちろん説得もあります。今、国へ行って、補助金を何とか獲得して町の財政負担を減らすという方向でも動いているわけです。

さまざまなバランスを考えながら、開成町の町民の皆さんの満足度を上げていく。今、開成町、人口が増えていると。特に、若い世代に移ってもらいたくて、ここ数年は、駅の東口に子育て支援センターをつくり、90人定員の保育所を新しくつくり、また、ソフト事業で病児保育、小児医療費も中学生まで延ばすと、さまざまなことを複合的に。また、教育では幼稚園も3年保育に、この4月からしたと。トータルでバランスを考えながら町政運営をしながら、開成町の将来の発展のために、今、力を入れていく重点事業としては、難事業である駅周辺事業だということで先ほど答弁させていただきました。それだけではなくて、バランスをとりながら、これからもきちんとやっていくつもりであります。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

どうも、かみ合わないのですけれども。私は、今、町長が答弁された内容、瀬戸屋敷周辺ですとか加工所、新庁舎の施設、いわゆるハード面がほとんどで、私が聞きたいのはソフト面、町民一人一人にどういうサービスを提供する、こういうサービスの提供、向上させる、町民が豊かな生活をするために、どういうふうにしていくということをお考えですかということを知っているのですけれども。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

一番重要なのは、開成町に住む人たちが元気で暮らしてもらう。私も自治会長をさせていただきましたが、開成町の自治会活動を支援することが、私は開成町民の一番のソフト部分においては重要なことだと、そのように認識しています。それぞれの地域がそれぞれの地域のやり方で、こんな小さな町であっても、自治会ごとにやり方が変わっても良いわけです。自分たちが考えて自分たちの地域を良くしようという、そういう自治会活動をきちんとこれからも支援していく。

私は、ずっと言っています。開成町の元気は、自治会活動が元気であることが一番大事です。そういう意識の中で、ソフトの部分においては、ハードではなくても、そういう意識の中で自治会活動。この夏も各地区、自治会の夏祭りは全部、回りました。自治会のさまざまな総会も回っていますけれども、それぞれの特徴に合った地域活動ができるように、これからも自治会活動を支援していきたいと、このように考えています。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

何回も聞くようですけれども、先ほど同僚議員も言ったように、それが良いかどうかは分かりませんが、周りの近隣の自治体から見て補助金が開成町が一番低いのですとか、そういったものが、やはり新庁舎ができて元気の良い町、どんどん人口が増えて元気の良い町にふさわしい、そういう状況にしてほしいということに対して。ですから、早く言えば、もっと町民にお金を使ってもらって、補助金もいっぱい。とにかく、ほかの町は500円しか補助しないけれども開成町は1千円補助があるよと、そういうような具体的な内容を聞かせていただきたいと言っているのですが、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

今の考えに、私は全くそうではないと思っていますけれども。個別で、よく議員さんもしろいろな質問をします。ここの町はこういうことで、近隣は補助金が安い。それを一つ一つ全部、開成町が受けていたら、幾ら財源があっても足りないと思います。できるだけ、先ほどの健康の話ではありませんけれども、検診の話ではありませんけれども、自分のことは自分で考えていただける町民の皆さんになっていただけるような促しはしていく必要があると思います。自治会活動も、そうだと思います。何でも自治会の人たちが行政に、これをやってください、これをやってください。そうではなくて、自分たちの地域のことは自分たちでやるからという意識の高い町民の皆さんになってほしいと思います。

ですから、今、言われたように、何でも全ての項目において補助金を出して、開成町が全部一番だなどということは、私は目指すつもりもないし、なかなか、そこまで財政的にできるものではないと考えております。

○議長（吉田敏郎）

山本議員に申し上げます。質問の中の重要課題の対応策ということで質問しまして、町長が答えております。やはり、それに関連した質問をしていただきたいと思いますので、少しずれているとか、細かい質問になってしまっているのか、ぜひ、その辺をお願いしたいと思います。

○８番（山本研一）

分かりました。

町民目線で言うと、今、私が申しあげているというのは大変重要な課題だということでも申しあげているのですけれども、今の町長答弁で町長のお考えはよく分かりましたので、そういう面では、開成町は、開成町の町長は、そういう思いで町民を見ているのだ、思っているのだ、考えているのだ、こういうことがよく分かったということで、それはそれで良いと思います。

では、本題、議長が言うように南部の土地区画整理事業に話を戻しますが、先ほど言いましたように、新庁舎建設、それから土地区画整理事業、両方合わせて、どのぐらいの町に財政負担とか、まずは借金がどのぐらいを想定して、そして、その金利負担は年間どのぐらいになるのか、お聞かせいただきたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

行政推進部長。

○行政推進部長（秋谷 勉）

申しわけございませんけれども、先ほども担当課でお答えしたとおり、まだ概算の事業費の段階で、これから計画を、これからという段階ですので、まだ借金がどれぐらいになって、また、利息がどうなるかというところまでの数字は持っておりません。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

今、概算で、まだ、概算４０億ということで細かい内容は分かっていないという話でしたが、本当に４０億かけて、この事業をやっていくというつもりなのかどうか、その決意を伺いたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

先ほどから、一番重要課題として土地区画整理事業、駅前通り線をやっていくと、そういう覚悟で私は話をさせていただいております。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○ 8 番（山本研一）

一番重要な課題ということでおっしゃっています。今、まだ町長が出る幕ではないというお話でしたけれども、どの辺から、どのような形で出ていかれるつもりでおられますか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

先ほど来、今、現段階においては事業計画案を検討している状況ですということは申しあげております。こちらの案が確定した以降については、やはり町長等にも直接、地権者の方に御説明いただくなり、そういった機会を設けなければいけないなど。事業を本格化していくという段階に入っていきますので、今後、そういった部分については考えていきたいと考えています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○ 8 番（山本研一）

そのタイミングは、いつごろですか。時期は。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

今現在、事業計画案を検討しているということで、その取りまとめについては、やはり今年度中にはできるのかなと思っています。そうしないと、来年度末の事業認可に向けての県との手続等も期間が必要でございますので、その辺で言いますと、今年度中には事業計画案をまとめた以降、例えば、その後に開かれる説明会等になってくるかなと思っています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○ 8 番（山本研一）

それでは、来年度からは、とにかく先頭に立って町長が出ていかれるということでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

はい。そのような形の中で、今、考えているところでございます。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

この間の地権者の方というか、町民の説明会の中では、さっき言いましたように町長にぜひ出てきてほしいと。新庁舎のときには、どこが出番かどうか分かりませんが、かなり各自治会を回られたというお話の中で、どうして出てきてくれないのかなという地権者の要望が聞こえたわけですが、それについて、町長はどのようにお考えですか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

新庁舎の件について、全町民にかかわる課題であったと認識していますし、今回は個別に限られた中の地権者でありますので、また、その中においては個別に、全体の説明会ではなくて、個別の中で話をするこゝも、これから出てくるかなと感じています。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○８番（山本研一）

どうも、ちょっと話が。そうすると、今、町として、この事業を町の最重要課題というふうに挙げていながら、全町にかかわらなくて一部のところにかかわる事業だというのは、どうも何か話がおかしいような気がするのですけれども、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えいたします。

今、議員さんの御質問としては、駅前通り線が町として重要課題であって、全町的な取り組みはどうなっているのだというような御趣旨だと思っておりますが、今、現段階については事業計画を検討している段階ですので、これが例えば町の政策決定会議等である程度、確定してくるということになれば、先ほどの財政的な調整であったり体制的な話ということがありますので、それに向けたところでは、担当部署と町長、副町長等とは、このような形でどうでしょうかというような御意見等は申しあげた中で、今、十分、御検討いただいていると。今後、そういった部分では、やはり多くの事業費がかかる事業でございますので、そういった調整等については、また、これから全町的な取り組みになっていくのだろうと考えています。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○ 8 番（山本研一）

どうも、かみ合わないので、私の質問の仕方が悪いのかもしれませんが、先ほど町長は、庁舎問題は全町にかかわる問題で、今回の問題は駅周辺の地権者の方の問題だからというお話があったので、だけど、そうはいえ、町の最重要課題に取りあげているのだから、そういう一部の問題ではないと判断するのが一般的だと思うのですけれども、その辺、町長はどうお考えですか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

新庁舎のときは、各自治会を全部、回ったと。これは、全町的にかかわる庁舎建設だからという意味で言ったので。今回は、全町民を対象ということではなくて、地権者の話においては一部のところですので、地権者とは、また個別にきちんと対応していきたいという、そういうふうに分けて考えていただければと。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○ 8 番（山本研一）

ちょっと堂々めぐりなのですけれども。ですから、一部の、全町を回ってくれという話ではなくて、一部の地域の対象の方の説明会に、住民の対象者が要望しているのに、どうして行かないのですかという質問をしているのですけれども。先ほど一般論としては時期尚早だというお話でしたけれども、対象者が望んでいる集会にどうして行かないのか、それを聞いています。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

行かないのではなくて、今の時期ではないと。課長に言われたように、そういう準備ができて、そのときが来ればきちんと説明会には私が行きますという。先日の説明会においての、今は御意見ですよね。なぜ、来なかったのか。行かないという話をしているわけではなくて、その時期になれば、きちんと説明会に私が説明をしに行きますよという。その時期が先日のときではないという話をさせていただいているのです。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○ 8 番（山本研一）

いずれにしても、今、重要課題に対する、あるいは対象の地権者に対する町長のお考え、そして、住民要望としてハードの面でもっともっと町民サービスを充実、向上させていただきたいという町民の皆さんの大きな課題に対して、町長のお気持ちは今の答弁でよく分かりました。

いずれにしても、開成町の将来を考えたとき、駅前通り線の整備は必要なことには間違いないと私も思っております。ただ、それらの町の将来を見据えた事業を進める

に当たっては、町民に負担や我慢を強いることのないよう、元気な町にふさわしい、足柄上郡はもとより、近隣と比べてもトップクラスの町民サービスもバランス良く実施するのが、それを先頭に立って推進していくのが町長の最も重要な仕事だと私は思っていたら聞いたのですけれども、どうも、ちょっと違うようですから、それはそれでしょうがないと思います。

神奈川新聞や神静民報などの地方紙には、各首長の動向が掲載されております。時期が来たら府川町長が自ら率先垂範で行動を起こし、諸課題解決の先頭に立って活動している掲載を期待しながら私の質問を終わります。

○議長（吉田敏郎）

以上をもちまして、山本研一議員の一般質問を終了といたします。